

信州大学医学部附属病院 小児科・血液内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年9月19日

「輸血副反応に関連する一塩基多型の解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部遺伝子解析倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	649(遺伝子)
研究課題名	輸血副反応に関連する一塩基多型の解析
所属(診療科等)	総合医理工研究科(医学)／臨床検査部
研究責任者(職名)	井出 裕一郎(大学院生(博士課程)／臨床検査技師)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2024年9月3日
研究の意義、目的	輸血副反応が起こりやすい患者さんを明らかにすることを目的とした研究で、将来の輸血療法の安全性向上に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2003年4月1日から2024年9月3日の期間に共同研究機関で輸血療法を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／血液、組織など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	検体:状態に応じた方法での郵送 診療記録、検査結果など:記録媒体、電子的配信等により提供を受けません。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集するとともに、遺伝子解析を実施し輸血副反応を発症しやすい患者さんの特徴を検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	長野県立こども病院 (責任者:戸塚 実)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学医学部附属病院臨床検査部 研究責任者:井出 裕一郎
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 井出 裕一郎 (臨床検査部・臨床検査技師) 電話:0263-37-2800

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。